

計画第3期突入！ CS本格実施へ

# 小中一貫・CS 通信

NO.31 R3.10.29 幕別町教育委員会 学校教育推進員

緊急事態宣言が9月末日で全国的に解除となりました。道は10月1か月を「秋の再拡大防止特別対策期間」としていましたが、飲食店への時短要請も14日をもって終了し、ほっと一息つく10月となりました。これまでの努力がようやく実を結んできたのではないかと思います。まだまだ感染対策等の辛抱は続きますが、これまで通り着実に教育活動を進めましょう。

今月は、まくべつ学園とさつない学園の運営協議会の様子を中心にお知らせします。

## まくべつ学園運営協議会開催 10/6

10月6日(水)に「第2回まくべつ学園 学校運営協議会」が幕別中学校を会場に行われました。緊急事態宣言の延長に伴い、予定していた事業ができなかったこともあり、改めて事業計画を修正し提示しています。その中で、12月15日(水)の合同研修会、授業参観週間(12月予定)に案内させていただくことを確認しました。

また、今年度の活動の概要をコーディネータが説明しました。乗入授業と施設設備の活用、児童会・生徒会交流、小中合同の交通安全街頭指導等、隣接校の強みを活かした活動が盛んに行われていることが紹介されました。



## いよいよ熟議実施！ さつない学園運営協議会 10/21

10月21日(木)、さつない学園の第2回学校運営協議会が開かれました。1回目の会合がコロナ禍のため書面開催となり、実際に顔を合わせての会合としては初めてとなります。

開会に先立って町教育委員会から委嘱状が交付され、岡田会長が代表して受け取りました。

開会宣言の後、岡田会長、橋本学園長の挨拶、各委員の自己紹介と続き、議事に入りました。学園の活動報告は書面報告とし、すぐに地域学校協働本部についての説明、現時点での組織イメージの説明が行われました。さつない学園では、地域学校協働本部を全くの別組織として作るのは当面無理と判断して、運営協議会のメンバーが兼任する形でスタートし活動の成熟を待って本来の形に移行するイメージ、とのことです。



その後、いよいよ4つのグループに分かれて、「さつない学園をサポートする取組」をテーマに熟議を行いました。初めは戸惑っていたグループもアイデアを出し合い交流するうちに次第に熱を帯び、活発な話し合いになりました。「学校に釣り堀を！」「子供たちの手で小屋を作ろう」など夢のあるイベント系から、ミシンや木工の授業支援や少年団・部活支援などのサポート系、そのほか学園ソングの作成まで、幅広いアイデアが出されました。熟議終了後、グループ発表が行われましたが、発表ごとに大きな拍手で会場が包まれました。



熟議終了後には、「コミュニティ・スクールとは何か」を、

裏に続きます

協議会委員をはじめ保護者・地域の方々が理解することが大事で、そのための勉強会や広報活動を教育委員会にもお願いしたい、との意見も出されました。

コロナ禍のため思うように活動が進まないもどかしさがありましたが、いよいよ熟議をするところまで取組が進んできたと感じさせる会合となりました。

## 後期活動の見通し確認 棟内学園定例経営会議 10/7

10月7日(木)、定例の経営会議が行われ、後期の取組について確認されました。

変える力部会では、ICT活用授業に係る教育局出前講座を12月に実施するため準備を進めることにしています。GIGA用通信環境の関係で取組が滞り気味でしたが、10月から環境整備が進みましたので、取組の進展が期待されるようです。

つながる力部会では、Chromebookを活用した学級通信交流、授業参観交流を継続すること、Can-Doリストについて各校で検討を進めること、を確認しています。

中学校登校による乗入授業については、11月26日(金)、12月10日(金)、12月17日(金)の3回を予定し、中学校教諭による専門的な授業、生徒会との交流を行うことにしています。総合的学習の時間と特別活動の次年度年間指導計画については、小中一貫教育の視点導入の検討を開始することにしています。また、次年度の学園グランドデザインの検討も始めることにしています。先々を見通した取組が進んでいます。

## 今月も小中交流が進んでいます まくべつ学園



「学校行事の取組の交流」の一つとして、幕別中学校の文化祭の準備の様子を小学校教員が参観する取組が9月28日(火)と30日(木)に行われました。また、10月末から行われる「学習発表会」に向けて、音楽の乗入授業を強化し、小学生が中学校の先生から指導してもらいながら練習に励んでいます。

小中合同による合同街頭指導では、児童・生徒の登校の様子を確認したり、交通指導員さんからの自転車の乗り方等の様子をお聞

きしたり、小中ともに共通理解を図ることができました。今後も継続した取組を行い、「地域全体で子どもを守る」体制を強固にしていきたいと考えています。また、小学校の避難訓練が9月29日(水)に行われ、中学校の重泉先生にも訓練の様子を見ていただきました。小中の防災・安全教育に関する共通理解が図られました。



## キャリア教育「林業を学ぶ」続報です ちゅうるい学園忠類中学校

9月27日(月)、「忠類を知る～林業体験学習」の「木の伐採」段階を学ぶ体験学習が行われました。1年生9名が総合的な学習の時間を使い、忠類地区にあるサンエイ緑化さんが伐採業務を請け負う上トヨイの国有林(広尾町)を見学しました。生徒たちは邊見社長の説明を受けながら現場を回り、ハーベスターなどで切り落とした木から枝葉を払い落とす作業などを見学しました。生徒たちは、見たことのないたくさんの機械に興味をもって学習していました。

